

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 コピー用紙
製品の種類 PPC用紙（自然色）

会社名 株式会社MonotaRO
所在地 兵庫県尼崎市西向島町231-2
GLP尼崎3階

担当者名 商品お問合せ窓口
電話番号 0120-443-509
Fax番号 0120-289-888
緊急連絡先 所在地と同じ

2. 危険有害性の要約

GHS 分類： 分類基準に該当しない。

危険有害性： 通常の使用状況及び取扱い手順のもとでは、危険性、有害性はない。

3. 組成及び成分情報

製品の区分：成型品

成分

成分名	CAS No.	重量比 (%)
木材パルプ（セルロース）	9004-34-6	72～77
炭酸カルシウム	471-34-1	15～20
澱粉（スターチ）	9005-25-8	3～5
サイズ剤	—	0.2～0.5
導電剤	—	0.1～0.3
水分	—	4～5

4. 応急措置

吸入した場合： 通常の使用状況で吸入することは考えられないが、万一吸入した場合には医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合： 通常、人体に対して影響はない。紙の切り口で指などを切った場合には、通常 of 傷の手当てをする。

目に入った場合： 通常の使用状況で目に入ることは考えられないが、万一入った場合には水で洗浄し、必要に応じて医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合： 通常の使用状況で飲み込むことは考えられないが、万一飲み込んだ場合には吐き出して医師の手当てを受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：	水、二酸化炭素、粉末、泡など、一般の消火剤
使ってはならない消火剤：	データなし
消火方法：	消火剤を用いて風上から消火する。
消火を行う者の保護：	燃焼又は熱分解により、有毒ガス発生があるので、状況によって呼吸保護具、化学薬品保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項：	製品の特性上、特に必要ない。
保護具及び緊急時措置：	製品の特性上、特に必要ない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：	紙の切り口で指などを切らないよう注意する。火気の近くで使用しない。 常温、常湿の状態で使用する。直接口に入れない
保管：	高温、多湿、火気、水濡れ、直射日光を避け、常温、常湿の室内倉庫で保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

保護具	
呼吸用保護具：	特に必要ない。
保護手袋：	特に必要としないが、状況によっては紙の切り口で指などを切らないように着用する。
保護眼鏡：	特に必要ない。
皮膚及び身体の保護具：	特に必要ない。

9. 物理的/化学的性質

外観	
物理的状态：	固体
形状：	シート
色：	白
臭い：	なし
PH（紙表面）：	6.5～7.5
溶解性：	水に溶けない
自然発火温度：	約 230℃

10. 安定性及び反応性

安定性：	通常の状態では安定しており、反応性はない。
化学的安定性：	発火温度以上の環境下で燃焼する可能性がある。
避けるべき条件：	高温状態や火気の近くでの保管を避ける。
混触危険物質：	通常状態ではない。
危険有害な分解生成物：	燃焼により、二酸化炭素や一酸化炭素を生成する。

11. 有害性情報

急性毒性：	データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性：	データなし
生殖細胞変異原性：	データなし
発がん性：	データなし
生殖毒性：	データなし
特定標的臓器毒性：	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性：	データなし
残留性／分解性：	データなし
生体蓄積性：	データなし
土壌中の移動性：	データなし
オゾン層への有害性：	成分的に有害性なし

13. 廃棄上の注意

可能であればリサイクルする。廃棄する場合は原則として焼却又は埋め立てによって処理する。焼却は“大気汚染防止法”などに適合した処理方法で実施する。埋め立ては“廃棄物処理法”などに適合した処理方法を実施する。その他、国、自治体の規制がある場合には、それらに従って実施する。

14. 輸送上の注意

荷くずれ、店頭、落下、激突を防止する。直射日光、水濡れ、多湿、高温の状態を避ける。

製品の損傷を防止するための包装材料、包装方法を採用する。

消防法危険物分類に該当しない。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	特定物質ではない
化学物質排出把握管理促進法（PRTR 法）：	特定物質ではない
毒物及び劇物取締法：	特定物質ではない

16. その他の情報

- 本データシートは作成時又は改訂時において入手できる最新のデータに基づいて作成したものだが、すべての情報を網羅したものではない。
- 注意事項は通常の手扱いを想定したものであり、特殊な手扱いの場合は用途に適した安全対策が必要である。
- 本製品の製造工程において RoHS 指令 6 物質、REACH 規制 SVHC（高懸念物質）、食品に接触することを意図した紙・板紙の製造に使用できない物質のリスト（2009 年 6 月改訂、日本製紙連合会）に掲載されている物質及び蛍光染料の意図的使用はない。
- 本安全データシート（SDS）は JIS Z7253：2012 に準拠している。